FERRIS
UNIVERSITY

2019 No.17

フェリス女学院大学同窓会会報

カイパー記念講堂

《聖句》

それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。
その中で最も大いなるものは、愛である。

コリントの信徒への手紙一 13章13節

「歴史」に学ぶ

理事長　亀徳　忠正

来年150周年を迎えるに当たって、目下「フェリス女学院150年史」の編纂に取りかかっているが、この機会に「フェリス女学院110年史」と「フェリス女学院一〇〇年史」を通読してみた。ミス・キダーは35歳にして、「神が私を日本に導いておられる」と強く感じて、自らの意思で最初の婦人宣教師として日本に派遣される事となり、ヘボン塾において、1870年フェリス女学院を創立した。改革派教会のフェリス博士の日本宣教の決心、S・R・ブラウン博士の導き、紆余曲折を経てのミス・キダーの英断が、フェリス女学院建学の力となった事は間違いないが、にもかかわらず「フェリス女学院は神様によって建てられた」と私は感じずにはいられない。年史が教えてくれる事である。

1923年9月の関東大地震で校舎は倒壊焼失し、カイパー校長が殉職するという誠に痛ましい事件があったが、米国改革派教会はじめ同窓会等からの資金援助によって、12月には校舎仮建築が落成し、翌年1月には授業が再開された事が年史に詳述されている。又、戦時下では校名変更を余儀なくされ、校舎を海軍に貸与し、戦後は米国進駐軍に校舎を接収される等、極めて困難な時期をフェリス女学院が迎えた時も、その後、米国改革派教会はじめ多くの方の絶大な支援によって見事に復興出来た事を年史は伝えている。他にも、多くの困難があり、多くの方々の支援と努力によって、悉く乗り越えてきた事を思う時、「フェリス女学院の歩みが主の御導きに守られ道が整えられてきた」と強く感じざるを得ない。

余談であるが、私達を物心両面で支えて下さっている米国改革派教会は、中流階級以下の、むしろ多くは経済的に困難な方が信者の教派と聞く。フェリス女学院への支援献金はそうした方々の浄財である事は忘れてはならない。

プロイセンの宰相であったビスマルクは、「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ」と云っている。

2020年に150周年を迎える私達は、改めて「神様によって建てられたフェリス女学院の歩みが、主の御導きに守られ、道が整えられてきた」事を歴史に学び、心から神様に感謝したいと思う。

なぜ旧約聖書を学ぼうと思ったのか

学院長　鈴木　佳秀

時々「何故自分は旧約聖書などを学ぼうと思うようになったのか」と思うことがある。理系志望の少年だった自分が、親が担任と相談し勝手に文系のクラスに入れたことから、徹底的に親に反抗し、荒れた青年時代を送る原因となった。愚れなかったのは、高校一年の時に、広島で被爆された牧師先生に偶然出会ったことによる。ミッションスクールであったため、宗教の時間に近所の教会に出向いてレポートを書くように言われたことがきっかけとなった。出会ったその牧師先生が、常に「神は愛なり」と説教されていたことが記憶に残っている。何か心に惹かれるものがあり、レポートが終わっても、時々礼拝には出るようになっていた。八月の最初の礼拝時に、彼が広島での被爆体験を話題にされ、涙ながらに、焼け落ちた会堂で召された教会員の葬儀を執り行ったことを語られた。衝撃を受けてしまい、何故それでも「神は愛なり」と説教を続けておられるのか、全く信じられなかった。礼拝に出るうちに、クリスマスの頃、牧師室に呼ばれ「洗礼を受けなさい」と言われた。あまりに絶妙なタイミングであったため、何も考えることなく「はい」と返事をしてしまった。キリスト教信仰について、ほとんど何も知らず、聖書についても何もわかっていない状態で、洗礼を受けたことになる。

浪人生活を余儀なくされたが、受験勉強をする気持ちになれず、聖書ばかり読んでいた。何故牧師先生は「神は愛なり」と語りうるのか、知りたかったからである。旧約聖書の初めから新約聖書の終わりまで、繰り返し幾度も読んでいたのを覚えている。

入学した大学で「新約聖書ギリシア語入門」という授業を取り、夢中で学んだ。聖書を原典で読めるという魅力に取り憑かれたからである。でも自分は、旧約聖書を原典で読みたいと密かに願っていた。洗礼を授けてくださった先生が、ヨブのように思えたからである。後にわたくしの恩師となる故関根正雄先生の岩波文庫訳『ヨブ記』を読み、その詳細な脚注に魅了されていたのもその頃である。大学紛争の時代、大学では授業がなかったのだが、関根先生が夜間講座でヘブライ語を教えてくださることを知り、新宿まで出かけて行った。それがご縁で、後に大学院でご指導をいただくことになったのである。

不思議な出会いから、この世界に導き入れられたことを思い、神様のお導きに感謝する毎日である。

感謝とご報告

学長　秋岡　陽

創立一五〇周年に向けた準備が着々とすすんでいます。大学では、記念事業(一次)「CLA棟の整備」がすでに完了、昨年度は、この新しく整備された校舎を拠点に、特徴的な科目「プロジェクト演習」がスタートしました。

この科目は、本学の教育理念「For Others」を具体化した内容、かつ学部横断型、学際的な内容の課題を解決することをめざすPBL(Project Based Learning)の演習科目です。二〇一八年度は「フェリス女学院一五〇周年記念プロジェクト」「横浜と音楽」「山梨県道志村の魅力の再発見と環境保全活動」「若者による文化の創造と発信」の四つのプロジェクトが行われ、二年次生六〇名が学科の枠を超えた仲間とともに課題解決に取り組みました。

この「プロジェクト演習」では、将来、実社会において必要とされる教養とその応用・活用方法を「演習」を通じて身につけることを目的としています。履修した学生たちにとっては、協力企業や自治体との協働のなかで、どうすれば自分たちが企画した提案が社会に通用するのか、その厳しさと達成感とを体験する貴重な学びの機会となりました。

昨年度はまた、二〇一九年四月から新体制でスタートする音楽学部における新しいカリキュラムも整備されました。音楽学部では、音楽分野の教育に対する現代社会の要請に応え、実社会との接続やグローバル化に対応し得る新しい教育を目指し、従来の二学科体制から「音楽学部音楽芸術学科」の一学部一学科体制に改組統合することを決定。その具体的な教育内容の検討が進められ、音楽を通した実社会における実践的な学びをこれまで以上に幅広く取り入れた新たな学びの環境が整備されました。今後、音楽及び広義のアートシーンで活躍できる人材の育成をめざしていきます。

なお、大学記念事業(一次)「CLA棟の整備」につづき、大学記念事業(二次)「ラーニングコモンズの整備」も始まっています。「ラーニングコモンズ」とは、学生たちの主体的な学びを促進する新しいスタイルの学習環境です。本学が長年にわたり培ってきた、個々の学生のニーズや能力に応じたきめ細やかな学習支援のさらなる充実をめざします。この二次の記念事業につきましても、引き続きご支援・お力添えをいただけますようお願い申し上げます。以上、感謝をもってご報告いたします。

維持協力会のご案内

「フェリス女学院維持協力会」は、一九九五年に設立された支援組織です。設立以来、同窓会、卒業生の皆さまから多大なるご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

維持協力会では、二〇二〇年の学院創立一五〇周年に向けて、記念募金のご寄付をお願いしております。二〇一六年六月から二〇二〇年十二月までの募金期間に総額三億五〇〇〇万円の目標を掲げ、おかげさまで二〇一九年三月末現在二億五三一万円のご寄付を頂き、約五九%の達成率となっています。今後も学院「一五〇周年記念館(仮称)の設置等」、大学(二次)「ラーニングコモンズ整備事業」、中高「外構及び環境整備事業」のそれぞれの記念事業実施のため、募金を続けています。引き続きご支援を賜りたくよろしくお願い申し上げます。詳細は募金趣意書をご参照ください。また、一五〇周年記念募金のほか、通常の募金「既存施設設備のための積立て」もお願いしておりますので、あわせてご支援を賜りたくお願い申し上げます。

●ご寄付の方法

原則一口一万円としていますが、金額にかかわらずご厚志をお受けします。専用の振込用紙で、最寄りの郵便局・金融機関よりお振り込みください。振込用紙は、ご請求いただければすぐにお送りいたします。ネットバンキング・ATM・クレジットカードによる寄付も受け付けております(※詳細は学院HPをご参照ください)。継続的なご支援をご検討の方には、ご指定の銀行口座からの自動振替制度もご利用可能です(引落手数料は学院負担)。

●会員登録

寄付金のご入金と同時に維持協力会へのご入会となります。

ご入会後、会員の皆さまには、年に二回、個別の寄付金累計額を記載した「ご寄付明細」及びフェリス女学院広報『ALL FERRIS』をお送りします。また、寄付者芳名録(ご了承いただいた方のみ氏名を掲載)をあわせてお送りいたします。

寄付金総額が二五万円に達した方は、終身会員としてご登録させていただきます。終身会員の皆さまには校歌CD、また毎年クリスマスカードをお届けします。

●寄付金控除

維持協力会へのご寄付は、特定公益増進法人への寄付金となり、優遇措置が受けられます(必要書類は、領収書発送時に同封します)。

※税制上の優遇措置を利用される場合は、確定申告者ご本人様名義の「領収証」が必要となります。領収証の再発行が必要な場合は、お問い合わせください。

●お問い合わせ・資料請求先

フェリス女学院本部事務局　総務課
電話　〇四五―六六二―四五一一
E-mail hsoumu@ferris.ac.jp

Fグループ・りてら・りべるて合同総会

2019年6月8日・カイパー記念講堂にて

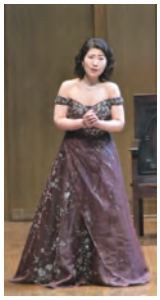
第16回合同総会は、梅雨空の下、山手カイパー記念講堂に多くの会員のご出席を得て開催されました。

開会に先立ち本部総務課鈴木様よりフェリス女学院維持協力会への同窓生支援に対するお礼と、創立150周年記念募金へのさらなる協力要請がありました。

先ず、礼拝の説教を大学宗教主事相沢一先生、奏楽を千葉麻莉子さんにお願い致しました。相沢先生は、聖書コリントの信徒への手紙―13章13節を朗読され、「愛が私に命ずること」と題してお話されました。愛について語る時、その話がフェイクであるか本物であるかは、本物の愛を経験している人には理解できます。聖書の中には本物の体験が書かれています。For othersの伝統の中で育ったフェリスの卒業生は、心の中で真実の愛があると信じていて、それは幸せなことです。そして、その伝統の担い手となり過ごして欲しいと思っています、とお話していただきました。

総会に移り、大学同窓会を代表し、金子和恵りべるて会長の挨拶の後、亀徳忠正理事長より、2018年度は経営努力を重ね、黒字で決算を終えることができたこと、また、150周年記念募金は3月末で目標額の60%を達成したが、引き続きのご協力をお願いしたい、とのお話をいただきました。鈴木佳秀学院長よりは、私大連の幹事としてのお立場から、大学改革の波の中で私大の伝統を守るため各々の大学が必至の努力をしているが、将来の構想を描きにくい状況にある。学院創立150周年は、50年、100年先に向かっての新たなスタートとして考えていきたい、とのお話を頂きました。秋岡陽学長よりは、音楽学部は、音楽芸術学科として新たにスタートし多くの受験生に支持されました。また、これからの時代の教育を考え、語学教育をさらに充実させるなど工夫を重ねていく。学校の最も大切な物は卒業生であり、同窓生が学校を想って下さるのが良い学校だと思う。フェリスはほんとうに同窓生により支えられていることに感謝している、とお話されました。

次に前記お三方のほか、ご来賓として谷知子副学長、谷口昭弘副学長、油井哲哉文学部長、高柳彰夫国際交流学部長、堀由紀子音楽学部長、星野薫事務局長、佐々木在事務部長、三森杏実フェリス白菊会会長をご紹介いたしました。その後、Fグループのソプラノ土屋友紀さん、ピアノ松本未知さんによる演奏をお聴きし、全員で校歌を歌い記念撮影をして、それぞれの会場に移りました。来年は6月13日(土)、山手で開催する予定です。皆さまお誘い合わせの上ご出席くださいますようお願い申し上げます。



Fグループ総会

梅雨の中、好天にめぐまれた6月8日、山手8号館アートサロンにてFグループ総会が開催されました。今回も遠方から多数ご参加いただき、前年比150％と活気ある集いとなりました。大学から大きく変革された音楽芸術学部の受験生が増え、良いスタートがきれたとお話を頂戴しました。開会の祈祷に続き、谷口昭弘副学長、堀由紀子学部長、黒川浩演奏学科主任、星野聡音楽芸術学科主任各先生方より、時代のニーズに添った音大の在り方をフェリスが示したことを強く感じるとのお話に、同窓生一同明るい気分になりました。

報告事項は会計、会計監査、予算説明、活動予定、再選された小林周子会長のご挨拶、各支部の報告、そして第1回卒業である田中順先生の選曲による合唱（夏の思い出、さより、讃美歌、フェリス和英女学院校歌）を楽しみました。

92歳のお元気なお姿とパワーあるお声で曲のエピソードをうかがい、合唱指導を受け全員で声を合わせると会場は柔らかい響きに包まれ胸が熱くなりました。

（岡田はるみ　29回）

りてら同窓生のつどい

6月8日(土)、『大学同窓会総会』および『りてら同窓会のつどい』が開催されました。今年も大変多くの同窓生にご参加いただきました。つどいの会場は「6号館第一別館」。先日惜しまれながらも閉店となった、カフェテラスの場所です。

当日は会場いっぱいに席が用意され、皆様と近い距離でお話できるよい機会となりました。在学時にはお話することが叶わなかった世代の先輩方に、思い出話を聞かせていただくことができました。

来賓の先生方にもお話いただきました。後方の席にいた同窓生の方々も、熱心に耳を傾けられ、学生時代のようなまなざしで先生のお話に聞き入っていらっしゃいました。その後、同窓生に現況をご報告いただいたりと、和やかな時間を過ごしました。終盤にはグッズ販売も。トートバッグやポーチなどをお求めの方が多く見受けられました。通販もございますが、実物を見て購入できる機会は貴重ですし、何より母校の校章入りのグッズを手に取ると、一層の懐かしさを感じられるようで、皆さん喜んでいらっしゃいました。

来年以降は、新しい会場が使用できる予定です。今より広くなるので、益々多くの同窓生がつどう会になると良いなと心から思いました。

（報告・髙坂香子2001J）

第30回　りべるて総会

6月8日(土)、家庭科記念館に於て、りべるて総会が開催されました。

金子会長より、昨年の10月18日(木)に行われた〝りべるて30周年記念会〟の報告と、りべるての活動をお支え頂いている教職員、会員、旧会員の皆様への感謝の言葉が述べられました。

総会には、亀徳忠正理事長、鈴木佳秀学院長、秋岡陽学長のご臨席を頂きました。各先生より、家政科に因みご自身の家事体験についてユーモアを交えお話しいただきました。

次に〝りべるて奨学金〟の目録が秋岡学長へ贈呈されました。有効に使われ、その後返済されている等の報告がありました。

出席者、委任状合計により、総会成立が報告され、議事に移りました。2018年度の事業報告、運営報告、決算報告、会計監査報告、2019年度の事業計画案、予算案が審議、承認されました。

懇親会では、卒業年度を越えて、なつかしい思い出話が語られ、和やかに時を過ごしました。

今年も無事に総会が終了いたしましたことを感謝をもってご報告申し上げます。

（D57　田原吉子）

2018年度 学位授与式

同窓会では、今年、

- 文学部　321名
- 国際交流学部　204名
- 音楽学部　81名

の卒業生をお迎えすることができました。

同窓会のグッズ販売

去る3月22日の学位授与式と4月1日の入学式に於いて、同窓会のご紹介と活動を身近に感じていただきたいとの思いから始まったグッズ販売も、今回で4回目を迎えました。

大学当局のご配慮により、カイパー記念講堂の入り口の前にある中高校舎のピロティをお借りしました。前面ガラス張りのスペースですので、式典の前後に多くの学生と保護者の皆様にお立ち寄りいただくことができました。

りてらは校章入りペン、ポーチ、サブバッグ、ファイル、アクセサリー、文具セット等を、Fグループは先生方の書籍、CDファイル、音楽会のご案内等、りべるては校章焼き印入り三笠山を販売いたしました。

卒業生には校章入りグッズで母校フェリスを、そして同窓会を思い出していただき、新入生には校章入りグッズで勉学に励んでいただきたいと願っております。

f group
Fグループ
No.48
音楽学部同窓会

Fグループの皆さま

会長　小林　周子（29回）

Fグループ会員の皆様、いかがおすごしでしょうか。いつもFグループの活動にご理解、ご協力をいただき感謝しております。今年も78名の新会員をお迎えいたします。去る5月9日、学年幹事会での会長選挙で信任をいただき引き続き、会長の任をお引き受けすることになりました。ここで受けました教育に感謝しつつ同窓会活動に臨んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

今年度は新たに「リユニオンレッスン」と題しまして卒業生のための講座を開講いたします。神戸愉樹美先生ご指導によるヴィオラ・ダ・ガンバの講座、秋には田中奈美子先生ご指導によるリート講座が予定されております。「ジョイントコンサート」「山手の丘合同発表会」と共にご期待ください。昨年よりお伝えしてまいりました通り、今年度より音楽芸術学科の1学科になって出発した音楽学部も順調な滑り出しを迎えた様子です。フェリス女学院の多様な教育の中で大切にされてきた音楽の専門教育は長い歴史の中で変化しながらも脈々と受け継がれていくことでしょう。私たち同窓生も広い視野をもって変わらず応援していきたいと思います。学院は来年迎えます150周年に向け準備が進んでおり、6号館には新たに同窓会室も用意されております。また学院よりのご配慮で同窓会費は学部4年次の前期に集めていただけることになりました。しかし納入の時期の関係でしばらく会費の収入がなくなります。度々のお願いで大変心苦しく思いますがFグループにお心をお寄せいただければと思います。最後になりましたが皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

～Fグループ ご寄付のお願い～

近年非常に厳しいFグループの運営に卒業生の皆様からのご支援を頂戴できれば大変有難く存じます。
一口 2,000円からお受けいたしております。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

〈振込先〉ゆうちょ銀行
00280－3－75184
〈加入者名〉Fグループ

通信欄に「Fグループ寄付」とご記入ください。

新・音楽学部の誕生に思うこと

音楽学部長　堀　由紀子

私たちの新しい音楽学部は、2019年4月、非常に勢いのある幸せなスタートをきることができました。ここにそのご報告をさせていただくと共に、皆様から温かいご理解、ご支援をいただきましたことを心より感謝いたします。昨年と比べて受験者数が100名以上も増えたのですが、これは1学科体制をとる新しい音楽学部の考え方が、高校生たちの目に魅力的に映ったことの現れと言って良いでしょう。旧・音楽芸術学科の定員45名と旧・演奏学科の定員30名を合わせた75名の新定員に対して、83名が入学しました。

新入生がフェリスの音楽学部を選んだ理由を聞くと、語学教育の充実、カリキュラムの自由度（好きな音楽に加えて様々な分野を幅広く学べる）、多種多様なゼミがあることなどが挙げられ、総じて非常に意欲的、「何でもパクパクと食べて栄養にしてやるぞ！」という心意気を感じ、頼もしい限りです。新入生だけでなく、2年次以上の音芸・演奏両学科生も、明るく活発に勉学に励んでいます。若い彼女たちの学習意欲に、私たちも全力で応えていかなければなりません。伝統的なクラシック音楽の持つ価値や魅力を理解し、新しい分野の開拓にも果敢に挑戦し、様々な音楽の在り方を学ぶことで培った想像力・創造力を現代社会に還元できる力強い女性たちを育てたいと願っております。

さて、話は変わりますが、「頑張る」という言葉、私も人を励ます時に無意識に使いそうになりますが、この頑なに張るというイメージは、特に芸術的な創造力を要する時には相応しくないように思います。むきになっている時には素敵なアイデアも出ないことが多いですよね？骨だって折れやすくなるし！何事も緊張と弛緩の組合せがコツなのでしょう。ベートーヴェンも、散歩をしている時に楽想を得たと言います。個人的には、しなやかで柔軟だけれどずっと芯が通っており、新鮮な意欲に満ちているというような状態にこそ、魅力を感じます。「よし、やるぞ～！」という意欲を表すのに、何か適切な言葉はないものでしょうか？卒業生の皆様とそのようなお話ができる機会を、心待ちにしております。

ジョイントコンサート
18年9月15日(土) フェリスホール

この日は朝から変わりやすいお天気でしたが、114名のお客様にお越しいただき、盛会のうちに終了いたしました。今回は6組の同窓生が出演してくださいました。ソプラノ、ピアノ独奏、2台ピアノによる演奏が披露され、場内は美しい音色に包まれました。

ジョイントコンサートは、卒業後、環境が変わっても真摯に音楽と向き合う同窓生の演奏を聴くことができる貴重な場です。今年は10月26日にフェリスホールで開催予定です。お誘い合わせの上、是非お出かけください。

担当　小清水桃子(55回)

【18年度出演者】

★豊田有美(60回Vo)／高柳圭(賛助Vo)／漆間有紀(58回Pf)
★柳沢真美(63回Pf)★平沼由季(50回Pf)
★太田三美(35回Vo)／堀内陽子(31回Pf)／桃原健一(賛助Ob)
★樋口かおり(44回Pf)／安藤美保(44回Pf)
★樺沢宏美(49回Pf)／松葉真理子(48回Pf)

【ジョイントコンサート出演者募集】

Fグループ会員でしたら出演できます。書類審査がございますので、Fグループ事務局へお問い合わせください。

フェリス　アーベント
18年10月26日(金) フェリスホール

昨年秋、田口純子先生（24回Pf）、藤田直子先生（32回Vo）、小倉一美さん（30回Pf）によるフェリス・アーベントが開催されました。

前半は藤田先生によるドヴォルザークやグノーの作品の歌唱、後半は田口先生によるドビュッシーの前奏曲第1巻全曲演奏、と大変厚みのあるプログラムを熱演してくださり、大盛況に終えることができました。

担当　中川彩(61回)

第5回　山手の丘合同発表会
19年3月20日・21日　フェリスホール

早いもので山手の丘合同発表会は第5回を迎えました。100組程のご参加をいただき、ピアノや声楽、ヴァイオリン、そして声楽アンサンブルも加わり賑やかな会となりました。華やかなステージの裏方では、指導者となった同窓生たちが当日の手伝いをし、発表会を支えてくださいます。指導者として、出演者として、スタッフとして、様々な形で同窓生たちが活躍する発表会。今年度から発表会は年2回開催することになりました。多くのみなさまのご参加をお待ちいたしております。

担当　金子明子(43回)

学年幹事会
19年5月19日(木)　6号館カフェテラス

学年幹事会では、各担当から諸活動についての報告がなされました。また、選挙管理委員会の厳正なる管理のもと、次期会長選挙が行われました。

ご参加いただきました幹事の皆さま、ありがとうございました。

担当　廣田晴美(53回)

【Fグループ会長選挙報告】

任期満了に伴うFグループ会長の選挙を告示し、前会長の小林周子氏が推薦を受け、会則に基づき信任投票を執り行いました。

有効総数96（出席22・委任74）
信任96票　不信任、白票0票
満場一致で小林周子氏の再選が決まりました。

ご出席及び委任状をお送り下さいました学年幹事の皆様のご協力に感謝いたします。

委員長　太田康子(22回)

音楽の贈り物

♪ジョイントコンサート

2019年10月26日(土) 15時開演
全席 1,000円
フェリスホール

[出演]
★桐藤友妃子(43回Pf)／稲熊佐江子(賛助Pf)
★岩本夏菜子(52回Pf)
★森佐知子(29回Vo)／小林周子(29回Pf)
★宮﨑実咲(57回Vo)／齊藤亜里紗(57回Vo)／中川葉音(57回Org)
★菊地理恵(63回Vn)／小清水桃子(55回Org)
★佐藤礼子(45回Org)

♪Reunion Lesson開講

「ドイツリートの調べ」
講師：田中奈美子先生
アートサロン予定

日程：2019年11月13日(水)・27日(水)
　　14時～17時予定
受講：5,000円(Fグループ同窓生に限る・伴奏者も同伴ください)
聴講：1,000円(50名程度・申込制・一般の方も可)

「ヴィオラ・ダ・ガンバの愉しみ」
講師：神戸愉樹美先生(20回)
山手6号館602教室（楽器貸出しあり）

[Aコース]年間24回、火曜9時～12時
　　白菊会・りてら・りべるて会員も受講可。
　　初心者クラスあり。半期27,000円程度。
[Bコース]年間11回、火曜12時～13時半
　　受講はFグループ同窓生のみ。
　　1回2,000円。

♪第6回&第7回 山手の丘合同発表会

2019年9月21日(土)10：30頃～
2020年3月28日(土)10：30頃～
フェリスホール
[参加者募集]
応募期間　第6回　締め切りました
　　第7回2019年9月26日～12月11日
参加資格　Fグループ会員
　　Fグループ会員のレッスン生

お問合せ・お申込み Fグループ事務局
045-681-6740(木曜日10時～17時)
E-mail：ferris@fgroup.jp

HPからもお問い合わせできます。
Fグループ　フェリス

名倉淑子先生を偲んで

菊地　理恵(63回)

いつもオシャレでカッコ良く、愛情溢れるレッスン、そして気さくでチャーミングなお人柄の先生は、本当に多くの人から慕われていらっしゃいました。

お亡くなりになる少し前までとてもお元気でリサイタル活動もなさり、弦楽専攻卒業生から成るFグループアンサンブルに於いては、コンサートミストレスとして5月の演奏会に向け熱くご指導頂いておりました。

2月に開かれた偲ぶ会には、先生とご縁の深い方々、門下生が集まり、思い出を語り合い最後に合同で献奏いたしました。誰もが先生の音色を探しているようでした。先生はオープンなご性格でもあり、ご自宅での手作り唐揚げパーティなどの幸せな時間が、今では夢のように懐かしく思い出されます。お会いできない寂しさと存在の大きさに改めて気づかされる毎日ですが、先生からいただきました素晴らしい教えを胸に、これからの日々を歩んでいきたいと思います。

支部だより

北支部

支部長　工藤　羊子(30回)

昨年10月26日、北支部では「横浜・山手に想いをよせて」と題したコンサートを催しました。同窓生の杉田知子（31回）山田なつき（42回）内山佳子（43回）工藤が出演しましたが、満席となった聴衆の方々をお見送りした際には、みなさまより、バラエティに富んだプログラムで、とても楽しかった、また企画して欲しい、とのお声を頂戴いたしました。なお、収益の一部を『福島の子どもたちを守る会・北海道』に寄付いたしました。

中部支部

支部長　牛込　まり(25回)

昨年はホールの耐震工事のため、年一回のコンサートになりましたが、落合先生をお迎えして、ふれっしゅさんとコーラスの賑やかで華やかなコンサートになりました。毎年、楽しみに来てくださるお客様も増え、嬉しい限りです。コーラスは難解な曲に挑戦しています。ジュニアコンサートも、他のホールになりましたが、無事開催できました。今年はふれっしゅコンサートとジョイントコンサートを企画しています。

今、中部支部では若返りの準備を進めています。

関西支部

支部長　桐山　恵子(33回)

２０１８年は、6月28日に閑静な住宅街にある「芦屋モノリス」にて総会を開催し、11名が集いました。まず、立神前学部長先生からご説明を受けた音楽学部の学課改編の詳細や趣旨について、支部長からお伝えいたしました。その後は、歴史的建造物を利用したレストランのお食事をいただきながらの、年代を超えて親交を深める会となりました。今年度は、音楽演奏を相互に聴き合えるような企画を検討中です。気軽に楽しめる親睦の場にしたいと考えております。

九州・山口支部

支部長　村上　京子(24回)

去年4月に、立神先生が来福なさり、２０１９年度からの新しい音楽学部音楽芸術学科の説明をして頂き、地方同窓会員の不安を一掃してくださいました。

九州山口支部では、毎年夏にジョイントコンサートを開催しています。２０１８年は大学から星野聡先生と黒川浩先生をお招きし、卒業生小野直子（Pf）福泉勝栄（Fl）吉田明未（Vo）山本紗英子（Pf）漆間有紀（Pf）松本苑佳（Fl）南菜穂（Pf）と賑やかな顔ぶれでの開催となりました。7月8日に開催し、ご来場の皆さんに楽しんで頂きました。

今年は7月5日に、蔵田先生、戸田先生、黒川先生をお招きし、新卒生を交えこちらの西南支部の合唱団を結成し、創立１５０周年記念事業への募金コンサートを企画しております。

コンクール受賞報告

＊**朝緑和恵**（35回）
日本訳詩家協会主催　歌唱コンクール
上位入賞

＊**土屋友紀**（48回・院3回）
第10回コンコルソ・ムジカ・アルテステッラ部門　音楽愛賞（アモーレ・デッラ・ムジカ）

＊**桐籐友妃子**（43回）＆**十和田英子**
第21回万里の長城杯国際音楽コンクールアンサンブル部門一般の部第3位。（第1位、2位なし）

リユニオンレッスンのご案内

Reunion Lessonと題し、同窓会主催のレッスンを始めました。今年度は、卒業生でもあり一昨年退任された神戸愉樹美先生を講師に「ヴィオラ・ダ・ガンバの愉しみ」と、昨年退任された田中奈美子先生をお迎えして「ドイツリートの調べ」を開催いたします。田中先生のレッスンは聴講のみも可能です。また、大学よりガンバの寄贈を受けましたので、学生の頃に使った懐かしい楽器を借りることもできます。想い出深い山手の教室にてレッスンを受けてみませんか？　詳細は7ページに掲載しております。

フェリス音楽教室
こどもたちとともに64年
2019年度生徒募集中
大人向けレッスン受講生募集中
3歳児から高校生まで
毎週水・土曜日
音楽学部校舎で授業
＜山　手　教　室＞
045-212-2396
＜緑　園　教　室＞
045-813-1070
http://www.ferrismusicinst.org

卒業生だより

寺師　真理子（24回）

どこか外国にも行ってみたいと単純に考えていた私は、フェリスを卒業してから、教えて頂いていた渡辺玲子先生の紹介で、パリでカトリーヌ・コラールとエコールノルマルでムニエ先生のクラスに入りました。偶然見たコルトーについての番組で、イヴォンヌ・ルフェビュールの演奏を聴き感激しました。ルフェビュール先生は、カトリーヌ・コラールの大先生でもあったため彼女の理解もあってルフェビュール先生の夏期講習に参加出来ました。レッスンも演奏も今までに聴いたこともないようなもので、ルフェビュール先生と真剣に学びたいと思い周りの方々の迷惑やアドバイスも無視して、結局元のクラスには戻らずに3年間集中的に学びました。4時間以上にわたるクラスはとても良かったのですが毎回クタクタになりました。幸い2週間おきでしたので何とか生き延びられました。

いつも順調だったわけではなく学生時代には酷評されたり、もうやめて日本に戻った方が、とか言われました。

その後イギリスに引越し、最近発表のCDは各国で良い批評を受けました。両親やお世話になった方達の励ましがあって音楽活動を今迄続ける事が出来て感謝しています。

【プロフィール】
フェリスを卒業後パリでカトリーヌ・コラール、イヴォンヌ・ルフェビュールと学ぶ。ジョルジュ・シフラのオーディションを経て演奏活動を続け、ユゲット・ドレイフュスとの出逢いを通じて出来上がったセイシャス、ラモー、クープランのCDはハープシコードの原曲をピアノで弾く試みで原曲に沿った解釈に加えて、ピアノの音色による温かみと色彩が加わり新たな境地を開拓したと海外でも好評。読売新聞の推薦盤になり、雑誌レコード芸術でも準特選に選ばれた。
現在はイギリス、レスターに在住。ヴィラーズ（Villiers）カルテットのヴァイオリン奏者、東環樹とデュオを組んでいる。

グッズのご紹介

Fグループオリジナルグッズ、好評発売中です。

グッズはHP、事務局、Fグループ主催のコンサート会場にてご購入いただけます。

クリアファイル2枚組
A4・A5サイズ、各400円

チャリティポストカード
デザイン・岡崎光子さん（11回）
6柄入り、500円

大学図書館山手分室よりお知らせ

大学図書館山手分室では、短大から音楽学・音楽教育専攻の皆さまの卒業論文をお預かりしております。ご希望の方には、大切な資料としてご返却いたしますので左記要領にてご連絡ください。

【期限】2019年10月末日まで
【問合せ先】図書館担当　古川
045-681-5149

役員紹介

会長　小林　周子（29回）
副会長　久保井明子（31回）
☆永川　恵子（25回）
書記　小林　和子（34回）
☆小泉美千代（44回）
会計　堀内　陽子（31回）
伊藤　裕子（27回）
企画　小清水桃子（55回）
尾見　惠美（45回）
中川　彩（61回）
会報　藤原　律子（47回）
☆福原　洋子（46回）
岡田はるみ（29回）
常任A　☆原田かおり（30回）
廣田　晴美（53回）
常任B　西山　彰子（54回）
太田　三美（35回）
会計監査　☆井上眞記子（22回）
土屋　友紀（48回）
Web担当　金子　明子（43回）
事務局　柏之間玲子（46回）
☆印は今年度新任役員

Fグループ2018年度決算報告

（2018年4月1日～2019年3月31日）

〈収入の部〉　（単位：円）

科目	決算額
終身会費	3,380,000
総会会費	46,000
ジョイント会費	208,300
研修会会費	0
ティータイム会費	287,500
合同発表会会費	1,151,200
宛名シール	700
ハートフルコンサート	0
グッズ販売	233,400
寄付金	291,713
雑収入	182,652
募金コンサート	0
小計	5,781,465
前年度繰越金	4,107,454
収入の部　合計	**9,888,919**

〈支出の部〉　（単位：円）

科目	決算額
(1) 運営費	1,416,037
会議費	2,030
印刷費	9,553
通信費	100,755
人件費	746,030
交際費	76,322
事務・消耗品費	88,029
備品費	0
出張費	47,280
交通費	295,500
学年幹事会費	48,702
特別委員会	0
雑費	1,836
予備費	0
(2) 活動費	2,421,682
総会関係費	602,779
研修会関係費	0
ティータイム関係費	112,762
会報関係費	631,667
ジョイント関係費	101,046
リサイタル関係費	51,000
支部関係費	440,782
慶弔関係費	75,600
合同発表会関係費	309,366
募金コンサート	0
予備費	96,680
(3) 諸会費	519,000
連絡会維持費	70,000
維持協力会費	300,000
寄附	149,000
(4) 積立金	0
名簿積立金	0
積立金	0
(5) 予備費	0
支出合計	4,356,719
次年度繰越金	5,532,200
支出の部　合計	**9,888,919**

監査の結果、妥当かつ正確であることを確認しました。　2019年4月18日
Fグループ会計監査　楠瀬　由佳理
太田　三美

Fグループ事務局（木曜10時～17時）

＊山手602号室ご利用者からのご厚情69，000円を維持協力会へ寄付いたしました。

＊宗施月子先生からのご寄付を用い、フェリスホールのステージ裏に姿見を寄贈いたしました。

＊19回生有志、28回生有志、アダージェットの会より、18年度合計291，713円寄付を賜りました。心より感謝申し上げます。

＊山手602教室（ピアノ1台）は同窓生が利用できる教室です。伴奏合わせ・練習・同期会などにご活用いただけます。詳細は事務局までお問い合わせください。

＊演奏会の後援、校章使用、同窓生の住所照会（宛名シール）等については、事務局へお問い合わせください。HPからも申請できます。

＊住所・姓の変更、慶弔等、同窓生や先生方の情報は事務局へお寄せください。

〒231-8651　横浜市中区山手町68
Tel. 045-681-6740
E-mail ferris@fgroup.jp

Fグループ会報編集
福原洋子（46回）　藤原律子（47回）

Fグループホームページ
随時更新中！

https://fgroup.jp

りてら

文学部・国際交流学部 同窓会

Littera No.35

りてら会員の皆様

同窓生の学び場

皆さまいつも同窓会活動にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。

今年度五〇五名の新会員をお迎えし、りてらの総会員数は二〇四七一名となりました。

山手六号館第一別館にて『学生に母の味を提供する』ことを目的に同窓生による学生食堂「カフェテラス・フェリス」を営んで参りましたが、本年二月末を以て閉業いたしましたことをご報告いたします。

一五〇周年記念事業の一つとしての六号館全面改修により、学生は八号館に集約されるため、学生食堂としての役割を終えることになりました。昭和初期に建てられ、横浜市認定歴史的建築物に指定されている別館の改修工事から参加させていただき、慣れない図面を見ながらの壁紙やフローリング選び、厨房設備、役所への届け出作業など懐かしく思い出されます。厨房スタッフの母校・後輩を想う気持ちは、学生への安全な食の提供だけでなく、食育を考えたメニュー作りにもありました。教職員・他部会の皆さま、ご利用いただきましてありがとうございました。十六年間事故もなく運営できましたこと感謝でございます。

改装されます六号館二階には、かねてよりご報告の通り広い同窓会室をいただけることになりました。セミナールームや多くの同窓生が集える施設も計画されています。卒業後も大学・学院との関係を続けられるように、生涯に亘り学びを続けられるようにとのご配慮です。来年の夏には皆さまにご披露できることと思います。オープンカレッジ受講やセミナー開催・サークル活動など、これからはもっともっと母校に足を運んでいただけますように、同窓会としても大学・学院と連携を深めて行きたいと考えております。

フェリスに培われてきたFOR OTHERSの精神は卒業後いかなる場所でも発揮されると確信しています。新設される同窓会室においても同窓生の皆さまと共に、その精神を未来へと紡いで参りたいと思っております。

最後になりましたが皆さまからの温かいご支援に御礼申し上げます。引き続きましてりてら募金・一五〇周年記念募金へのご支援をお願い申し上げます。

会長 小澤 美智子
(1970J)

4年制大学第1期生として国文科に入学。学院理事。

幹事会出席のお願い

りてらは、学年幹事会が決議機関となっております。各学科二名の学年幹事により、年二回春秋の幹事会にて運営についての審議・承認がなされるため、幹事会出席者の減少は同窓会の弱体化に繋がると危惧され、活性化を進めております。学年幹事さんの確認・補充をお願いすると共に、幹事会への積極的なご参加をお願いいたします。

役員募集のお知らせ

今年度より役員を広く公募いたします。任期につきましては、昨年度の会則改定により三年となっております。応募詳細は、別紙をご参照ください。

同窓会事務局員募集のお知らせ

同窓会室では、事務局員を募集しております。
週1～2回、時給制での勤務をお願いしています。公式サイトでもご案内しておりますが、詳細はお問い合わせください。

同窓会室より

登録情報変更手続きについて

ご住所の変更、ご永眠者のお届けは、ＦＡＸ又はメールにて同窓会室までお願いいたします。りてら公式サイトもご利用いただけます。

サポーター募集のお知らせ

アドレス登録制の「サポーター」さんを募集中です。作業や販売のお手伝いを、ご都合に合わせてお願いしております。是非ご登録ください。

役員紹介

会長	小澤　美智子	（藤原）1970J
副会長	増田　紀子	（今井）1983E
	山縣　幸子	（大竹）1984J
会計	古谷　ゆかり	（二村）1987E
	島村　直美	（池谷）1984J
書記	髙坂　香子	（青木）2001J
会計監査	河合　ハル子	（宮越）1957E
	嶋田　久子	（萩原）1972J

２０１９年 フェリスフェスティバル のお知らせ

11/3(日)・11/4(月)

ホームカミングデーは
◆11/4(月)11:00～16:00
緑園キャンパスにて。

※詳しくはp.19「大学からのお知らせ」をご覧ください。

グッズ紹介

◆オープンポーチ ￥1000
◆スクエアポーチ ￥1000
◆三菱マルチペン ￥800
◆一筆箋 ￥400
◆ゼブラボールペン〔ブレン〕￥150
etc

限定商品
牛革ハンドルトートバッグ
Mサイズ￥2000　Lサイズ￥2500

りてらの就職課支援

毎年、りてらは就職課への寄付を通して学生の就職活動を支援しております。

昨年度は1月30日に外部講師を招致して「人事の心をつかむ 文章術セミナー（エントリーシート完成編）」というセミナーが開かれ、学部3年生と大学院1年生の合わせて174名が受講しました。

今後の就職活動に欠かせないエントリーシートを書く際の文章の組み立て方を学び、受講学生の満足度は100％であったとご報告を受けました。

今後もフェリス生たちが世に出て羽ばたく翼を得るための支援を、続けていきたいと思っています。

りてら2018年度決算報告

（2018年4月1日～2019年3月31日）

●収入の部（円）

科目	決算
終身会費	16,290,000
追加通信費,りてら募金	361,000
預金利息	3,503
雑収入	0
収入小計	16,654,503
前年度繰越金	29,029,984
収入合計	**45,684,487**

●支出の部（円）

科目	決算
総会関連費	1,188,108
会報関連費	2,264,963
クリスマスカード費	1,109,249
企画費	32,091
会議費	214,628
卒業・入学関連費	1,180,086
大学祭費	13,396
寄付	1,000,000
就職課支援金	162,000
交際費	10,000
会費	70,000
人件費	1,432,893
交通費	136,840
通信費	182,900
パソコン関連費	271,080
ホームページ関連費	619,338
リース費	64,800
印刷費	65,112
事務消耗品費	99,247
手数料	5,588
備品費	58,644
雑費	27,750
予備費	0
支出合計	10,208,713
次年度繰越金	35,475,774
合計	**45,684,487**

「ジェンダー平等」の国際目標とフェリス

朝日新聞のDear Girlsという企画で、フェリス女学院中高卒業生の中満泉国連事務次長は、国連で女性として働いてきたご経験や、パートナーのご出身国のスウェーデンとの比較から「日本の状況ははっきりいって異常です」「これが当然という『刷り込み』ができてしまう」と述べておられます。

私は昨年12月に、共編著書『SDGsを学ぶ』（法律文化社）を出しました。SDGs（持続可能な開発目標：2015年9月に国連総会で採択）のゴールの1つは「ジェンダー平等と女性のエンパワーメント」です。私はカナダの開発援助政策を研究していますが、トルドー現首相は自らフェミニストであるといい、内外の政策でジェンダー平等を重視し、開発援助政策は「フェミニスト国際援助政策」です。日本はジェンダー格差を指標化したグローバル・ジェンダー・ギャップ指数で149か国中110位（2018年）のジェンダー不平等大国で、政治・経済関係で異常に悪いです。

日本でも近年女子大の共学化が一定数ありましたが、約70の女子大があり、おそらく世界一です。文学系や国際系など本学を含む女子大に多くある学部・学科は共学の大学でも女子が多数派です。それでもなお、女子大の存在意義があるとすれば何でしょうか。

日本の大学でジェンダーの視点を取り入れた教育研究はおそらく女子大が進んでいます。しかし多かれ少なかれ伝統的価値の「刷り込み」を受けてきた中で、女子だけの大学生活で「刷り込まれた」「女らしさ」の価値を助長し合う危険性も、残念ながら本学で感じます。前任の公立共学大学では女子リーダーも普通にいて、サークル会館（学生自主管理・24時間開放）のサークル輪番の徹夜警備も男女平等にやり、学ランを着た体育会応援団も男女半々で団長も年により女子と、「女らしさ」にとらわれない女子学生が増えていました。

個々人の将来は自己選択であることはもちろんですが、社会・経済の第一線で活躍し、指導的地位につく卒業生を増やすことで日本のジェンダー不平等の解消につなげる。「刷り込み」から学生を解放する。これらを通じてより先端的にジェンダー平等の達成を促進してこそ女子大は意義があります。

昨年は、医科大学での女子受験生差別が発覚、お茶の水女子大がトランスジェンダーの学生受入決定と、大学とジェンダーの問題を考えるいろいろな機会がありました。ジェンダー平等達成のため本学がめざすべき方向は何か、卒業生の皆様にも世界の新しい議論に注目しながら考えていただきたいです。

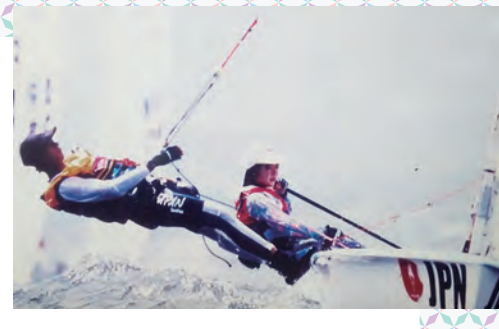
国際交流学部長
高柳 彰夫 先生
国際交流学部教授。
専門は国際関係論・国際開発研究。

■講演会レポート 2018年10月13日＆2019年5月11日

昨秋の学年幹事会で「関東大震災とフェリスの復興」をテーマに国際交流学部の大西比呂志教授にご講演をお願いいたしました。貴重なお写真を拝見しながら、多くの人々が復興に尽力されたこと、そして、アメリカからの支援が大きかったことなど、改めてフェリスの歴史を知る有意義な時間となりました。

今春の学年幹事会では、文学部日本語日本文学科の谷知子教授にご講演をお願いいたしました。テーマは―若者による文化の創造と発信の可能性―全学教養教育機構（ＣＬＡ）「プロジェクト演習」を例として。「百人一首」の和菓子「浜恋路（はまこひたび）」誕生までのストーリーを興味深く拝聴しました。

今秋は国際交流学部の荒井真教授をお招きする予定です。ご参加をお待ちしています。



同窓生だより

フェリスとヨット、それからの私

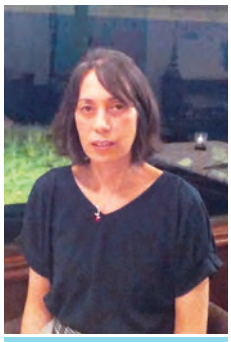
私は現在、理学療法士として働き10年程のキャリアになります。フェリスの英文学科を卒業して、何故畑違いの職業にという疑問も当然でしょう。私自身も不思議です。そもそも卒業後に最初から専攻とは何ら関係のない所に就職したのですから、人の人生は分かりません。

私は大学入学したての頃に、ヨット同好会の門を叩きました。ただ海が好き、そんな軽い気持ちでしたが、待ち受けていたのは本格的な競技への道でした。体格に恵まれていたこともあり、次第にヨットの魅力にはまってゆき、卒業後は何の迷いもなく、競技のパートナーとなる方に誘われ、オリンピックを目指す為に佐賀県に移り住みました。オリンピック出場は夢でしたが、その延長線上にいれることに価値があると思いました。それからは仕事の傍らヨット付けの毎日。苦しい日々でしたが、その中にも楽しみを見いだし、何とか辿り着いた3大会連続出場、そしてアトランタでの銀メダルのご褒美、出来すぎなくらいです。

その後第一線を退いた私は、選手を支える側に回り仕事に励んでいましたが、ハードな面もあり自分に出来ることは何なのかと苦悶が始まりました。そんな時に出会ったのが、今の仕事です。今度も英文学やヨットとは全く関係のない世界に、30代後半で資格取得の為に再度大学にチャレンジ。無我夢中で勉強しながら、この10年あまり仕事をしてきました。現在も九州に住んでいます。

そんな私の心の支えの一つは、フェリスの同級生達との何年かに一度の再会やメールで近況報告、励ましあっていることです。お互いが無知だったあの頃を知っている友達とは今でも仲良しで、結婚や仕事、人生のことについて話ができる仲間は、かけがえのない宝だと思っています。若い時にフェリスで文学を学び、得たこと、出会えた先生方は私にとって今でも心の糧です。今も諸方面で活躍している同級生達がいます。

当初、理学療法士という仕事にまるで自信がありませんでしたが、回り道をしてきたからこそ語れる経験を、今は患者さんとしながら、地域の医療に携わることが出来るのも楽しみの一つです。駆け足にこれまで歩んできた道を綴りましたが、本当に回り道だらけ。これからも様々な事が待ち受けているのだろうなと思う反面、気づいたらもう50代、程々に頑張ろうと最近は思っています。期せずして来年は東京オリンピック、30年前にフェリスのヨット同好会で活動した江の島で大会が開かれます。思い出の地にスポットが当たると思うと、今からわくわくします。



深堀ユリエ
アリーシアさん

1991年卒。デンマーク生まれ。
現在は長崎在住。

在校生だより

学友会の仕事とは？

コミュニケーション学科3年
学友会会長　佐野由佳

学友会をよろしくお願い致します

同窓会の皆様、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

私達学友会は、昨年度、23名で活動して参りました。新入生歓迎会GREEN PARTYや大学祭トークショーをはじめ、2019年度の卒業生を送る学位授与式や卒業パーティーのお手伝い、本年度の入学式のお手伝い等、新入生や卒業生の貴重なお時間を共に過ごさせていただいております。また、卒業礼拝や学位授与式では、同窓会りてらの皆様とお会いする機会もあり、大変お世話になっております。

私達学友会は、本年度新入生を50名近くも迎え、新体制で活動を始めるスタートラインに立ちました。昨年度に比べ人数が大幅に増加し、まだ手探りではありますが多くの新入生と共に活動できることを大変嬉しく思うと同時に、より一層身が引き締まる思いでおります。

毎年2月頃には、学友会のOGの皆様をご招待し、OG会を開催させていただいております。是非ご参加いただき、貴重な話をお伺いしたく思います。お待ちしております。

最後になりましたが、今後とも私達学友会総務委員会を何卒宜しくお願い致します。

小さな旅 くらぶ

お台場～浅草・水上バス散歩

1984J　眞島尚子

10月23日、雨もなんのその。汐留駅を出発し徳川将軍家の庭園「浜離宮恩賜庭園」へ。ガイドボランティアの方の見事な案内で散策するうちに江戸時代の景色に重なり、東京のど真ん中にいる事を暫し忘れる60分。雨に打たれる三百年の松は美しく壮観でした。

さて次はゆりかもめで台場へ。グランドニッコー東京台場「大志満」でのランチです。

目にも美味しい加賀料理を頂きながら、卒業以来の友や先輩後輩の皆様との歓談は、この旅くらぶの大きな楽しみです。

食後はいよいよクライマックス、水上バスで隅田川散歩。船内では皆さんと笑顔でゆったりと江戸情緒を満喫。浅草到着で解散となりました。ありがとうございます。

また、次回楽しみにしております。

■2019年度は、10月5日（土）夕方から横浜でのお食事と「工場夜景クルーズ」を予定しております。ご興味のある方は、まずはご登録から！同窓会室までお気軽にお問合せください。

フェリスと私　3　―教授の舞台裏―

【1】就活（移籍）

２００３年12月、「日本語史が専門で、かつ日本語教育経験がある方。着任は２００４年４月」という公募が横浜の名門フェリスから出ていました。見るからに無理やりな条件でしたが、留学生日本語の担当経験があったのが幸いして、エントリーできました。１月下旬に日文主任の森朝男先生から電話があり、最終選考のため２月上旬に緑園に行くことに。模擬授業は20分、内容は文法史。日本語学プロパーが齋藤孝滋先生のみであることはＨＰ等で調べてあったので、専門外の面接官に「なるほど」と思わせるような内容を用意し、学生に接するように当てて質問しながら進めました。授業後は1対5の面接。うまく話せたかどうかは覚えていませんが、最後に交通費を渡されたとき「ちゃんとした学校だ！」と強く思ったことは記憶にあります（それまでの最終選考はすべて自腹）。そしてそのまま17時の飛行機で山口県に日帰りしました。後日、採用通知を頂いたときは嬉しかったですね。勤務校でストレスとなっていた研究環境、待遇、人間関係などから自力で脱出した瞬間でした。

【2】専門分野

着任時たのしみにしていたのは、「日本語資料を読む」です。日文2年次必修の「～を読む」各科目は週2回演習形式で行う授業で、専門ゼミに進む前にじっくり実践力を鍛えるものでした。私は四百年くらい前までの読みやすくかつ面白い話の写本や版本を選りすぐり、テキストとしました。受講者は全員、自分の担当範囲の「変体仮名」解読からスタートします。みんな二か月程度で読めるようになります。毎年20人以上の学生が原典を読み、日本国語大辞典や索引を利用して語句の用例を集めて国語学的研究発表を行う―こんな王道スタイルが成り立つ大学に勤めていられるなんて、自分は恵まれているなあ、といつも思っています。因みに専門のツボを押さえたレポートにはSが付きます。それに出会うと脳内に謎のしあわせ物質が分泌されます。

【3】日本語教育

初年度から台湾の輔仁大学への実習引率を行い、後期からは委員長となって、日本語教員養成講座の運営に携わりました。これは採用時の約束のようなものなので責任をもって取り組みましたけれども、自分が門外漢であるという意識は常にあって、いつも専門家に相談していました。ラッキーなことに、大学1年のとき同級生だった河先俊子さん（現国士舘大教授）が同じ年に留学生センター教員となっていたので、新カリキュラム案に助言をもらったり、非常勤講師を紹介してもらったりして、講座を時代なりに整備していきました。２００５年秋には教務課（担当：荒井さん・吉川さん）と連携して、学生要覧に載らないけれども必要な情報と提出書類現物とを綴じこんだ「養成講座ハンドブック」を作成しました。これは大変うまく機能して個別対応は激減、学内業務における初期の成功体験だったと思っています。ハンドブックは改良を重ね、今は学生要覧の別冊として組み込まれています。そして２０１４年、田中里奈先生（日本語教育学）の日文着任をもって私はようやく隠居することができ、日本語教育学会も退会しました。

【4】転機

こうして16年目に振り返ると、私のフェリス歴は２００９年のサバティカル（研究休暇）を境に、前半5年と後半10年に分かれるようです。２００８年に結婚し、教育・研究・学校業務に関して肩の力を抜いて対処するすべを覚えたのだといえましょう。でも前半の私は私でトンガってて面白かったと思います。後半の私は妻子持ちの入試委員・学科主任ですから、柔軟な結果追求主義です。

教員も大学も少しずつ様子を変えますが、フェリスはこれからもずっと横浜の女子大です。いつでも遊びに来てください。卒業し社会を経験した皆さんと、在学中には思いつきもしなかったような視点の話が出来ることを楽しみにしております。

日本語日本文学科主任
勝田 耕起 先生

専門は日本語史（語彙）。
最近の趣味はロードバイク。

information

開室：毎週火曜日・木曜日　10時～16時
（大学の春・夏・冬期休暇中は閉室）
住所：〒２４５－８６５０
横浜市泉区緑園４－５－３ フェリス女学院大学内
ＴＥＬ：０４５－８１２－８６９２
ＦＡＸ：０４５－８１４－８９６６
ＵＲＬ：https://littera.gr.jp　Email：info@littera.gr.jp

◆住所変更やグッズ購入、旅くらぶへのお申し込みやサポーター登録には公式サイトの利用が便利です。
QR コードよりアクセス下さい。

invitation

◆英語読書会のご案内◆

9～11月は、美智子上皇后が子供時代の読書体験を語られ内外に感銘を与えた英文メッセ ージを学びます。皆様のご参加（この期間のみも可）をお待ちしております！

講　師　吉野　洋子　先生（S35：高等部）
日　時　毎月第3水曜日　10時半～12時（1月・8月休講）
会　費　月額1,000 円
場　所　白菊会 同窓会室
連絡先　髙橋　邑后（さとみ）（1959E）
TEL：044（755）2379

りべるて

Vol.31
家政科同窓会

りべるての皆様

会長　金子　和恵

りべるて会員の皆様、いつもりべるての活動にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。今年も会報をお届けできますことは、寄稿ならびに編集にご尽力くださいました皆さまのおかげと感謝申し上げます。

昨年10月18日(木)、横浜ロイヤルパークホテルに於いて、約３００名の皆様のご出席をいただき、「りべるて30周年記念会」を開催いたしました。この日の為に全国各地より横浜に来てくださいました皆さまは、懐かしいお友達と再会を果たすことができ、その光景を見て、企画しました役員一同もホットいたしました。

来たる２０２０年は学院創立１５０周年です。日本初の近代女子教育学校として創立されたフェリスの伝統をつないできたのは同窓生の皆さまです。同窓生とお話させていただくと、そのお言葉の端々から、在学中に触れたキリスト教とフェリスのモットーであるFor othersの精神を感じることができます。この伝統を後に続く後輩に引き継げられますように、記念募金への皆様の温かいご協力をお願い申し上げます。

さて、この一年も好評のうちに各種教室を開催して参りました。初めて参加される方も増えて、残念ながら定員を設けざるを得ない教室もございました。同窓会の枠を超えてお申し込みを受け付けておりますので、どうぞ奮ってお出かけください。

同窓会は、学校と会員の皆様を繋ぐことが大切な活動ですので、会報等を通じてフェリスの今をお伝えしております。そのためには皆さまの住所管理も大切です。昨年の記念会では、多くの会員の皆様より住所変更のお申し出がありました。今後とも、転居や改姓の際は、りべるて事務局までご連絡下さい。

ところで、毎年皆さまにお願いしておりましたバザーですが、今年は諸般の事情により中止させていただきます。

最後に、今後とも皆様の変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。

奨学金贈呈

６月８日(土)、りべるて総会に於て、金子会長より秋岡学長へ〝りべるて奨学金〟を贈呈いたしました。２０１１年に創設いたしました〝短期大学家政科同窓会りべるて奨学金〟は今回で累計４５０万円となりました。経済的理由で学業を諦めざるを得ない前途有為な後輩を救いたいとの思いでした。ご利用された方の中には社会に出て、返済をしてくださった方もいらっしゃいます。これからも奨学金が後輩のお役に立てますよう願っております。

行事予定

9月25日（水）
大村先生ステンドグラス教室

11月14日（木）
大森先生お菓子教室

12月14日（土）
クリスマス礼拝

2020年
大村先生ステンドグラス教室
矢吹先生北欧絵織物教室

2019年度役員

会長	金子　和恵	D51
副会長	小倉由紀子	D43
〃	鈴木　初枝	D44
書記	北村　周子	D43
〃	遠藤木美子	D45
会計	石井　克子	D43
〃	池田　昭子	D61
総務	村本とよ子	D35
〃	岩江眞理子	D51
〃	三谷　京子	D52
〃	嶋村美智子	D52
〃	伊藤　純子	D52
〃	大崎由記子	D52
〃	三藤　裕子	D54
〃	倉掛　典子	D55
会計監査	田原　吉子	D57
〃	郷　佑美	D43
〃	浅見　治美	D45

お菓子教室

12月6日(木)大森いく子先生のお菓子教室が開催されました。季節柄クリスマスケーキとりんごのコンポートでした。抹茶入りのスポンジを焼き、ツリーにみたて、ヨーグルトクリームに刻んだいちご・バナナを混ぜ合わせて、山型にのせ、そのまわりにスクエアにカットしたスポンジを重ねてゆき、くだものを飾りつけ、パウダーシュガーをふると、それはお美味そうなクリスマスツリーが出来上がりました。

ステンドグラス教室

1月23日(水)大村典子先生のステンドグラス教室が開かれました。干支シリーズが続いています。毎回出席されている方も、初めての方も、先生が丁寧にカットしてくださった色とりどりのガラスを組み合わせて、ハンダ付けしていきますと、勇猛で素敵な猪のステンドグラスが完成しました。色が少しずつ微妙に違いますのでそれぞれが一点ものの作品になりました。

先生のご厚意により、秋に来年の干支ねずみのお教室が開催される事になりました。

北欧絵織物教室

2月6日(水)、矢吹恵子先生の北欧絵織物教室を開催いたしました。今回初めていらした方を含めて17名が参加されました。毎回新しいテクニックを教えていただきますが、今回は市松模様の織り方です。糸を数えながら織り進みますが、間違えると市松模様になりません。なんとか土台となる市松模様の部分を織ると、次はかわいい三軒の小さな家を作り、最後に太さや表情の違う糸を森に見立てて織りました。黒の額にはめ込むと自然豊かな北欧の森の中に佇む赤や青の屋根の白い家がとても素敵な作品となりました。

限られた時間で大作は作れませんが、毎回温かい作品を作らせていただいております。矢吹先生のお話を伺うのも楽しみです。

ビーズ教室

7月3日(水)小倉志保子先生のビーズ教室を開催いたしました。

赤い珊瑚をふんだんに使い、間には黒い小さなビーズを通します。小さな穴に糸を通しながらの作業はなかなか大変でしたが、要所を先生に教えていただき2時間ほどで完成いたしました。赤い珊瑚は素肌に付けると肌がキレイに見えてとても素敵でした。

毎回ステキな作品を考えてくださいますので来年も楽しみです。是非ご参加ください。

■2018年度決算報告書 (2018年4月1日～2019年3月31日)

	科目	金額 (円)
収入	30周年記念会　学院より賛助金	1,100,000
	会費	752,000
	その他	44,420
	事業費(グッズ販売、バザー)	290,247
	受取利息	3,205
	小計	2,189,872
	前年度繰越金	8,308,185
	合計	10,498,057
支出	奨学金基金	500,000
	寄付金	53,949
	30周年記念会	5,211,556
	事業費(グッズ)	191,872
	小計	5,957,377
	次年度繰越金	4,540,680
	合計	10,498,057

	繰金明細	
	定期貯金(株式会社ゆうちょ銀行)	3,027,000
	通常貯金(同上)	618,496
	通常貯金(同上)	512,768
	普通預金(横浜銀行)	382,416
	合計	4,540,680

■2018年度運営報告書 (2018年4月1日～2019年3月31日)

	科目	金額 (円)
収入	基金運営費(学院より)	2,705,604
	合計	2,705,604
支出	消耗品費	13,848
	旅費交通費	442,250
	通信・運搬費	839,455
	印刷製本費	1,062,884
	報酬手数料	1,374
	会議会合費	113,172
	諸会費	125,687
	渉外費	41,546
	雑費	65,388
	修繕費	0
	事業費	0
	寄付金	0
	合計	2,705,604
	収入−支出	0

■2019年度予算

科目	金額 (円)
消耗品費	120,000
(事務用)	10,000
(その他)	110,000
旅費・交通費	410,000
通信・運搬費	940,000
(郵便料金)	930,000
(宅急便)	10,000
印刷・製本費	800,000
報酬・手数料	2,000
会議・会合費	100,000
諸会費	100,000
渉外費	100,000
雑費	90,000
修繕費	0
事業費	0
寄付金	0
合計	2,662,000

会長　金子和恵

会計　石井克子

池田昭子

監査の結果、相違ないことを確認いたしました。　2019年5月16日

監査　郷佐美

浅里治美

フェリスグッズ終了のお知らせ

永年にわたりご愛用いただきましたりべるてのフェリスグッズの販売は終了させていただきます。

お願い

転居・住居表示変更のために、郵便物が届かない方が増えています。変更がありましたら、りべるて宛お知らせください。

TEL・FAX　045-662-0750（第一木曜日は閉館）

特集　りべるて30周年記念会

２０１８年10月18日(木)11時より横浜ロイヤルパークホテルを会場に〝りべるて30周年記念会〟を開催いたしました。幸いお天気に恵まれ、この日のために80代の大先輩から最後の卒業生までが、全国から３００名程出席して下さいました。ロビーのあちらこちらでは、この記念会を切っ掛けに、お友達との久し振りの再会を喜ぶお姿が見受けられました。

りべるて30周年記念式　式次第

	司会	[illegible]
開会の辞		
礼拝		
	説教	短期大学・大学院元講師 岡崎 晃
	奏楽	西村 泉
黙祷		
讃美歌	313(この世のつとめ)	
聖書	ヨハネによる福音書14章1～6節	
説教	『どこから来て、どこへ』	
祈祷		
讃美歌	310(しずけき祈りの)	
黙祷		
記念会		
ご挨拶	会長	金子 和恵
来賓ご挨拶	理事長	[illegible]
	学院長	鈴木 佳秀
	恩師	榎本 義子
来賓ご紹介		
演奏	Fグループ	
	ソプラノ	荒川 美江
	ピアノ	西村 泉
閉会の辞		
懇親会		
ご挨拶・乾杯	学長	秋岡 陽

初めに礼拝を行ないました。お説教は短期大学・大学院元講師岡崎晃先生に、奏楽はＦグループの西村泉さんにお願いいたしました。聖書ヨハネによる福音書第14章１～６節を朗読され『どこから来てどこへ』と題してお話されました。フランスの画家ポール・ゴーギャンは１８９７年から98年にかけて〝我々はどこから来たのか　我々は何者なのか　我々はどこに行くのか〟との作品をタヒチ島で製作しました。人間とはいったいどこから来てどこに行くのか。人生を物語ったこの作品を例に、人間の基本を示されて、人は神のもとから来て神のもとへ行く、イエス様の後について神のもとに行くのですとのお話でした。礼拝は卒業以来との方が多くいらっしゃいましたが、学生時代を思い出し少し緊張しながらも温かな雰囲気の礼拝を守ることが出来ました。

記念会に移り、金子和恵会長の挨拶に始まり、鈴木佳秀学院長にご挨拶いただき、恩師榎本義子先生からは家政科でお教えいただいた当時の思い出をお話いただきました。

次にご来賓として前記お二方のほか、秋岡陽大学長、亀徳忠正学院常務理事、星野薫事務局長、佐々木在事務部長、小澤美智子りてら会長、小林周子Ｆグループ会長、衞藤怜子フェリス白菊会会長、小口照子、中村淑子、皆澤靖代りべるて歴代会長の皆様をご紹介いたしました。

続いて、金子会長より鈴木学院長へ、記念会の会費より学院１５０周年記念募金に寄付金を贈呈いたしました。

最後に、Ｆグループ荒川美江さんと共に懐かしい校歌を歌いました。卒業以来とおっしゃる方が殆どでしたが、皆様ピアノの演奏に合わせての大合唱となりました。

懇親会は、秋岡陽大学長のご挨拶と乾杯のご発声により賑やかなパーティが始まりました。

学年毎、またお友達とテーブルを囲みお食事を楽しまれ、同期に呼びかけて記念写真を撮ったり、クラブの先輩後輩が談笑する姿などが会場内で見受けられました。

岡崎先生、榎本先生と在学中の思い出や近況を楽しそうにお話しする方々も多く、この記念会を企画して本当に良かったと思いました。

20周年に続き、30周年の礼拝をお願いいたしました岡崎先生は88才となられましたが、お年を感じさせないお姿で『聖書のことば』を語ってくださいました。改めまして感謝申し上げます。

学院、大学、各同窓会、そしてりべるて会員の皆様のお支えでこの日を迎えられましたことにお礼を申し上げます。

「30周年記念会」に出席して

記念会にご出席いただきました方々の感想や、お礼状を一部割愛させていただきまして掲載いたします。

先日は、盛大なすばらしい30周年記念パーティでした。

会長さんはじめ役員皆様の御尽力には心から頭が下ります。

帰宅して、開けたあのマーク入りカステラにも、又々びっくり！

家族も、〝ワァすごい！〟と絶賛でした。何から何まで至れり尽せりで、私など何のお力にもなっていないのにあの様な記念式典や懇親会に参加させて頂き、なんだか大変申し訳けない思いでした。でも皆々様にお会い出来、美味しいお食事に素敵なひとときでした。

私は卒業して50年経つのですが、フェリスの校歌すっかり忘れておりましたのに、一・二小節聞いただけで、あとのメロディーがスラスラ想い出されて、自分でもびっくりでした。先程も家事をしていて〝緑濃きフェリスの丘に…〟と口ずさんでおりました。なんて幸せな事だろうと改めて思っている所です。

この心からの感謝の気持ちどうしてもお伝えしたく思いました。

心からの感謝をこめて　S・M（D44）

30周年記念会に出席させていただきました。卒業して40年。それぞれ忙しい時を経て、少し時間にも余裕が出来た頃、なつかしい思いで出席しましたが、本当に心から楽しい時間を同窓生の皆様と共有できて幸せでした。

美味しいお料理も大満足でした。司会の方の計らいで学年ごとの記念写真も撮ったりして家に帰っても余韻に浸って、同級生にも元気をいただけたことに感謝しております。ありがとうございました。

Y・O（D52）

りべるて30周年記念のパーティーに参加させて頂きました。なつかしいお顔が沢山、すぐに思い出せる方と、少しお話ししていると思い出せる方　自分も年をとり、見かけが変化しているのにごめんなさい。パーティー後半に各学年毎の呼び出しをかけて下さり、おたがいに会う事が出来てとても良かったです。なつかしい短大時代を思い出しました。

感謝です。　T・M（D35）

卒業以来、すっかりごぶさたしているりべるてですが、今回30周年記念パーティーが、みなとみらいのホテルで開かれるという事で行ってみたい気持ちになり、久しぶりに友人に連絡を取り伺いました。たくさんの美味しい食事や飲み物を片手におしゃべりができて楽しい時間を過ごすことができました。学年毎に撮った写真も私達D52の参加者が一番多くてびっくりしました。こんなに素敵な会を準備され、当日も私達のために色々動いてくださっていた会長さんはじめ役員の方々に本当に感謝しております。おみやげの校章入りカステラも美味しくいただきました。

ありがとうございました。

M・S（D52）

りべるて30周年記念会おめでとうございます。

当日は晴天に恵まれ、旧友と一緒に学生時代に戻ったような気分にさせていただきました。厳そかな中、礼拝をいただきありがとうございました。

又、華やかな懇親会・懐かしい校章入りのお土産とフェリスクオリティを感じた一日でした。

役員の方々のお働きに本当に感謝致しております。

N・K（D55）

同窓会支部だより

東京支部

東京支部についてご報告させていただきます。10月4日の総会、引き続いて午後は元三田文学編集長・加藤宗哉氏による「遠藤周作の世界―『沈黙』と母なる神」と題した講演を伺いました。11月末の「おとなの遠足」は紅葉の久品仏（浄真寺）を散策。新春の歌舞伎、3月末のお花見等、参加人数は少ないながら、例年通り、楽しむことができました。

ここで皆様には残念なお知らせをしなくてはなりません。かねてより役員、会員の高齢化により、支部としての活動が難しい状況でしたが、いよいよ今年10月の総会を最後に東京支部を閉じさせていただくことになりました。昨年の総会にて皆様にお諮りし、学院長先生、4同窓会会長様方にも、ご了承いただきました。折角ここまで継続してまいりました東京支部が終わってしまうのは本当に残念ですが、会場として長く便宜を図って下さいました浜松町東京會館のビルも今年を最後に取り壊されるとのこと。こうした事情も重なり、今回の決断となりましたこと、どうかご理解下さいませ。これまで長い間ご支援いただきました皆様には心より感謝申し上げます。

最後の総会は10月3日（木）、午後の公演はミュージカル歌手・柴田泰孝氏をお迎えして、ジャンルを超えた素晴らしいショーを楽しんでいただきたいと思っております。

皆様のご出席をお待ちしております。

支部長　多賀　礼子

関西支部

2018年度関西支部総会は、毎年固定の11月第2水曜日に鈴木学院長、小林Fグループ会長をお迎えして、大阪で開催されました。壁一面が天井まで伸びるガラス窓から、秋らしい日が入る中、心静かに賛美歌斉唱で始まりました。

鈴木先生のフェリス近況等のお話を聞いていると、母校フェリスの教室に座っていた若き頃が自然とよみがえってきます。美しいメロディのフェリス校歌を歌い終えた時にはすっかりフェリス女学生に戻っていました。

関西支部には転勤や結婚で関西に越してこられた方が沢山いらっしゃいます。フェリスの香りいっぱいの会へぜひ御参加ください。

最後になりましたが、今年度、5年間支部活動に尽力して下さった磯野さんから、支部長を引き継ぎました。設立90余年の伝統ある関西支部が、関西在住のフェリス卒業生にとって、身近な存在であり続けられるよう、お手伝いさせて頂きたいと思っております。

関西支部長　幸田　睦子

2019年度関西支部同窓会総会のご案内

日時　11月13日(水)
会場　オリエンタルホテル(神戸)
電話　078-326-1500
申し込み先　huusenusagi@hotmail.com
住所、氏名、学部、卒業年度を明記のこと

西南支部

平成最後の同窓会総会は永田道子名誉教授をお迎えし10月25日に開催致しました。〝明日の元気のタネ〟になるひと時を…との思いでお願いした『女性のエクソサイズパフォーマンス』についての講演だったのですが…。タイムスリップして来られた様な永田先生の変わらぬお姿とエネルギーにすっかり魅せられて会員皆が女子大生に戻った様な熱気。タネどころか一瞬で会場中に花が咲いてしまいました。

ベルリリーズのハンドベル奏楽に始まった礼拝、大学の「プロジェクト演習」の一環で開発されたというモナカ「浜恋路」を頂きながらの分科会、そして最後の校歌斉唱まで、心地良い母校の思いに包まれた集まりとなりました。皆様お一人お一人の笑顔に感謝致して居ります。

閉会しても尚、先生や会場の雰囲気に後ろ髪を引かれる、そんな思いを感じ令和初の同窓会総会も左記の通り同会場と致しました。

ご案内状は9月頃発送予定です。沢山のご参加をお待ち致して居ります。

支部長　大神　薫子

令和元年西南支部同窓会総会のご案内

日時　11月1日(金)12時～
場所　レストランひらまつ博多
　　博多リバレイン2F
電話　092(263)6231

フェリス白菊会より

フェリス白菊会では今年度、会長、副会長、会計監査の改選があり、書記、会計を含む新しい役員でのスタートと成りました。

6月1日の総会には亀徳忠正理事長、鈴木佳秀学院長、廣瀬政明中高校長、小澤美智子りてら会長、金子和恵りべるて会長をお招きして懇親会も和やかに執り行うことが出来ました。講演会では中高英語科、ブラウネル宣教師の「フェリスのルーツを覚え、育むために」のタイトルで1月のティータイムに引き続きお話をお聴きしました。学院150周年に向けて、フェリスの歴史と信仰に関して深く学ぶことができ、皆様方と大変有意義な時間を過ごすことができたと考えています。

2020年3月28日(土)のカイパーサタデーコンサートには笙奏者宮田まゆみさん、ピアニスト三浦友理枝さんをお迎えして開催する予定です。150周年にふさわしい悠久の時の流れを感じて頂きたいと思います。皆様どうぞお誘い合わせの上、お出かけ下さい。これからもフェリス女学院につながる同窓会が神様のお働きにより、より一層祝福されます様にお祈り致します。

フェリス白菊会会長　三森　杏実

●同窓会は外国にもあります

●ニューヨーク事務所
Mrs. Rakuko Kuwayama
136 West 24 St. New York, N.Y. 10011 U.S.A.
TEL 212-675-3840

●ハワイ事務所
Mrs. Chizu Hatakeyama
3043 Hollinger St. Honolulu, HI.
96815-4211 U.S.A.
TEL 808-735-1296 FAX 808-735-1579

●カリフォルニア事務所
川上裕子(高等部S47卒)
15035 Tierra Alta, Del Mar, CA 92014, USA
TEL. 858-945-2352 Email yuko@lji.org

クリスマス礼拝のご案内

《日　時》
2019年12月14日(土)
午前11時から

《場　所》
カイパー記念講堂

《説教者》
横浜指路教会
藤掛順一牧師

2018年度フェリス女学院
中高・大学同窓会　会計報告

(2018年4月1日～2019年3月31日)　(単位円)

前年度繰越金(2018年4月1日)		1,433,482
収入	同窓会連絡会　維持費 白菊会、りてら、りべるて、Fグループ　各￥70,000×4	280,000
収入	利息　2017年8月	6
収入	利息　2018年2月	6
小　計		280,012
収入合計		1,713,494

支出	支部総会お祝い金 東京・関西・西南支部　各￥20,000×3	60,000
支出	東京支部参加費　￥6,000×4	24,000
支出	関西支部大会出席会費、往復交通費	35,280
支出		
支出	クリスマス礼拝経費(含 振込手数料)	91,520
支出合計		210,800

次年度繰越金	¥1,502,694

以上の通りご報告いたします。
2019年4月1日　　Fグループ　小林　周子

クリスマス礼拝(2018年)献金先

献金総額	**239,140円**
●日本ユニセフ協会	59,785円
●日本キリスト教海外医療協力会	59,785円
●難民を助ける会	59,785円
●社会福祉法人日本医療伝道会	59,785円

大学からのお知らせ

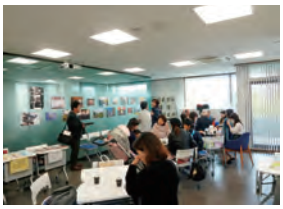
～同窓生向けサロンのご案内～

大学総務課では2015年度より同窓生の皆さまに向けた様々な企画を大学祭にて実施しています。

昨年度は、2017年度に開設したCLA棟のグループスペースを会場に、11月3日限定で同窓生専用のサロンを設けました。

サロンには、フェリスの校舎の写真パネルを掲示し、昔のキャンパスニュース、学外オリエンテーションのパンフレット、学生要覧等様々な懐かしい資料も展示しました。また、お茶とお菓子をご用意して、大学祭見学の休憩の場としてくつろいでいただいたり、ミニ同級会の場としても大いに活用していただきました。ご家族との利用も可能のため、ベビーカーを引いたお子さん連れの参加も見受けられました。

また、当日は名誉教授の先生方にも多数ご出席を賜りました。先生方にとっても懐かしいフェリスのキャンパスで、同窓生の皆さんと和やかなひとときをお過ごしいただきました。



さらに、サロン内では各同窓会コラボの限定グッズや大学の記念切手の販売も行い、ご好評をいただきました。

サロンに来ていただいた同窓生の方々にはアンケートを実施しましたが、今回のサロンの企画に、「満足、また参加したい」との回答を多数いただき、スタッフ一同、大変うれしく思っております。また、今後の要望として「子連れでも参加できる企画があるとありがたい。」というお声をいただきました。

それを受けて、昨年度に引き続き今年も同窓生専用サロンを設置することとしました。また、緑園消防署及び泉警察署の協力のもと、①消防・警察車両(消防車、パトカー、白バイなど)の展示、②起震車による地震体験、③横浜市消防局のマスコットキャラクター『ハマくん』による学内巡回などの企画を行います。車両展示は、子供用の消防服を着たり、白バイにまたがって写真を撮ったりと、お子様にも大人気のイベントとなっております。また、今年は3年ぶりに起震車が来ることになりました。ぜひご家族で地震の体験をしていただき、改めて災害について考える機会になればと願っております。

今回の大学祭企画については、詳細が決まり次第、大学や同窓会のホームページでもお知らせします。

また、大学祭ではその他たくさんの企画が予定されていますので、是非旧友とそしてご家族とお誘いあわせの上、お越しください。お待ちしております。

《同窓生専用サロン》
◆日時　11月4日(月・休)11時～16時
◆場所　フェリス女学院大学緑園キャンパス
　　CLA棟2階国際センターグループスペース
◆対象　フェリス女学院大学同窓生とそのご家族の皆様(事前予約不要・入場無料)

問い合わせ先　大学総務課
TEL：045-812-8211
E-MAIL：u-soumu@ferris.ac.jp

2019年度音楽学部コンサートのご案内

◆**10月23日(水)**　石井記念パイプオルガン建造30周年記念
フェリスホール・オルガンコンサート
―**バッハ・プログラムシリーズVol. 2―《フーガの技法》**
19：00開演／一般1,000円・卒業生500円　フェリスホール
【出演】オルガン：飯沼 彩・宇内千晴・早島万紀子・三浦はつみ

◆**11月2日(土)　室内楽の夕べ**
15：00開演／入場無料　フェリスホール
【出演】学内オーディション合格者

◆**11月23日(土・祝)　オーケストラ協演の夕べ**
17：00開演／入場無料　フェリスホール
【出演】ソリスト：学内オーディション合格者　指揮：鷹羽弘晃

◆**12月6日(金)　フェリス管弦アンサンブル第18回定期演奏会**
19：00開演／入場無料　フェリスホール
【出演】ソリスト：学内オーディション合格者　指揮：飯吉 高

◆**12月21日(土)　クリスマス・コンサート**
17：00開演／一般1,000円・卒業生500円　フェリスホール

◆**2020年2月11日(火・祝)　フェリス名曲コンサート**
詳細未定　フェリスホール

◆**2月17日(月)　音のグルメ　ア・ラ・カルトVol.13**
詳細未定　フェリスホール

◆**3月16日(月)　卒業記念演奏会**
詳細未定　フェリスホール

「お問合せ」音楽学部演奏委員会室
TEL：045-681-5189(月火木金10：00-17：00)
E-mail：concert-office@ferris.ac.jp
コンサート情報Facebook　https://www.facebook.com/FerrisConcert

Fグループ主催のコンサート等の情報は7ページ音楽の贈り物をご覧ください

大学祭　*FERRIS FESTIVAL 2019*

テーマ『Gift』

開催日時：11月3日(日)、11月4日(月・祝)
両日　礼拝10：00～　開場11：00　閉場19：00

開催場所：緑園キャンパス

11月3、4日にFerris Festivalを開催します。

今年のテーマは、「Gift」です。来場者の方にFerris Festivalを楽しんでいただき、その時間を通して温かい気持ちを「Gift」のようにプレゼントしたいという思いと、Ferris Festivalのすてきな思い出を「Gift」のようにお持ち帰りいただきたいという願いが込められています。

また、「Gift」には「才能」という意味があります。キリスト教の信仰に基づく女子教育を理念に掲げるフェリス女学院だからこそ、神さまが与えてくださった才能や恩恵に感謝し、来場者の方々や、各企画に参加してくださる方々の才能を活かしつつ、みなさんが輝けるステージにしたいという思いも込められています。

Ferris Festivalを盛り上げようと学生たちは頑張って取り組んでいます。同窓生のみなさまにも当日足を運んでいただき、学生の日頃の活動や学習の成果をぜひご覧ください。その他にも多くの方に楽しんでいただけるよう、ビンゴ大会や縁日、フェリスラリーなど参加型の企画も用意しています。みなさんのお越しをお待ちしています。

オープンカレッジのご案内

大学卒業から数年または数十年が経過し、その間様々な人生経験、社会経験を積んでこられた今、「学ぶ」ことの意味、「学ぶ」ことから得る気づきや喜びは、学生だった当時とはずいぶん変わってきているのではないでしょうか。人生100年時代を充実させる取り組みの一つとして、そんな「新たな学ぶ喜び」を味わってみてはいかがでしょうか。

生涯学習課では皆さまの学びの場の一選択肢に加えていただけるよう、オープンカレッジをご用意しております。文学、文化、歴史、宗教、語学、美術、音楽など幅広い分野の講座を取り揃えておりますので、まずは無料でお送りいたしますパンフレットをご請求のうえ、お手にとってご覧ください。同窓生の皆さまには事務手数料免除の特典もございます。気になる講座がございましたらぜひご参加いただきますよう、スタッフ一同心よりお待ちしております。

生涯学習課直通：045-812-8390　URL：http://open.ferris.ac.jp/

永眠者(お届けのあった方)

大学名誉教授　名倉　淑子先生　2018・10・13
嶺　貞子先生　2018・11・6

Fグループ

斎藤真知子姉(23回)　加藤　康子姉(20回)　2018・8・6
早川　孝子姉(14回)　アディソン幸子姉(30回)　2018・12・25
平松　聡子姉(33回)　2018・11・20
小島　幸江姉(20回)　2018・1・30

りてら

小泉　路子姉(1953E)　麗美姉(1953E)　2017・9・2
坂本　下田かずえ姉(1954E)　2018・9・20
福井　和世姉(1961E)　2019・1・17
芹沢　紀子姉(1963E)　2018・11
田中　芳子姉(1964E)　大島　泰子姉(1966E)　平野智世子姉(1966E)　2019・3・21
中村　幸子姉(1966E)　阿部　行子姉(1966E)　金崎チエ子姉(1966E)　2018・2・12
藤井　裕子姉(1969E)　霜村　孝子姉(1974J)　2017・11・12
藤野　智子姉(1981E)　2019・2・14
鈴木麻奈美姉(1985E)　2006・10・25
岩井　佳子姉(1992E)　2014・6・11
山科　珠世姉(1998J)　木和田千絵姉(2001J)　2018・8・15
長島　美穂姉(2002J)　2019・1・20

りべるて

山越　日和姉(D28)　遠藤　栄子姉(D29)　玲子姉(D30)　2019・3・28
堀　金子さぎり姉(D33)　2018・11・6
間島　芳子姉(D35)　宮代志摩子姉(D36)　2018・6・23
川本　孝子姉(D36)　大澤　通江姉(D37)　2019・2・21
須藤　典子姉(D39)　深井奈理子姉(D39)　2019・3・1
星野　重子姉(D40)　2018・6・20
亀井　文江姉(D45)　1995
阿部　陽子姉(D48)　2019・4・15
梶原　葉子姉(D53)　2018・5・15
湊　葉子姉(D62)　2018・2・19
陶山　登美恵姉(D63)　2018・6・天来の慰めをお祈りいたします。

資料室からのお願い

皆様方から多くのご支援をいただき来年6月に資料館(仮称)がオープンいたします。そこではフェリスの歩みを図版展示でご覧いただけます。皆様からご寄贈いただきました品々も順次展示していく予定です。フェリスの歴史は学校側が残している史資料だけでは語れません。写真、授業のノート、成果物、試験の答案用紙等々、そこに在学された一人一人の思い出が隙間を埋め、色を添えていくのです。

これからもフェリスに関わる資料がありましたら、ご寄贈くださいますようお願い申し上げます。フェリスに関する資料・情報もお気軽にお寄せください。

フェリス女学院資料室
担当：松岡、鈴木
電話：045-662-4411
mail：shiryo@ferris.ac.jp

編集後記

新しく令和に元号が変わり、これからの未来が平和で健やかに過ごせますように願っております。

今年も皆様の温かいご助力をいただいて、会報をお届けできる幸せに感謝いたします。

今後の集いにも、どうぞ皆様お誘い合わせてなつかしい時間をお過ごしくださいますようにお待ちしています。

フェリス女学院大学同窓会会報
2019年8月発行
担当：家政科同窓会りべるて
045(662)0750
りてら　045(812)8692
Fグループ　045(681)6740